

隠岐航路のあり方検討業務に係る契約候補者の選定について

令和3年1月29日 隠岐広域連合

1 事業名

隠岐航路のあり方検討業務委託事業

2 契約期間

契約締結日の翌日から令和3年12月24日まで

3 契約候補者選定結果

株式会社 バイタルリードを契約候補者に選定しました。

4 契約候補者の概要

当該法人は島根県出雲市に本社を置き、主にコンサルティング業務及び旅行業務、システム開発業務を営む法人です。

5 募集及び選定の経過

- | | |
|-----------------|------------|
| (1) 募集の公告 | 令和2年12月11日 |
| (2) 参加表明書提出期限 | 令和3年1月6日 |
| (3) 応募資格審査結果の通知 | 平成3年1月7日 |
| (4) 提案書等提出期限 | 令和3年1月15日 |
| (5) 選定委員会の開催 | 平成3年1月29日 |

6 応募団体

- | | |
|------------------------|----------------------|
| (1) 株式会社 アテナ | (島根県松江市内中原 226 番地 3) |
| (2) 株式会社 山陰合同銀行コンソーシアム | (島根県松江市魚町 10 番地) |
| (3) 株式会社 バイタルリード | (島根県出雲市荻杼町 274 番地 2) |

7 選定の方法

- (1) 選定委員会委員の構成

役職	氏名	団体名等	備考
委員長	大庭 孝久	隠岐の島町 副町長	
副委員長	川崎 康久	隠岐広域連合 副広域連合長	
委員	吉元 操	海士町 副町長	
〃	濱田 明博	西ノ島町 副町長	
〃	田上 俊	知夫村 副村長	
〃	森 脇 幸	島根県隠岐支庁 県民局長	
〃	嶋川 智尉	島根県地域振興部 交通対策課長	
〃	角橋 隼人	隠岐観光協会 事務局長	

(2) 提出書類の確認

応募団体からの提出書類については、公告に定める応募の資格等を満たし、適正に記載されていることを確認しました。

(3) プレゼンテーション及びヒアリング

応募団体に対し、提案内容等について 20 分間の説明を求め、その後、各委員との間で 20 分間の質疑応答を行いました。

(4) 審査内容

提案内容の審査については、応募団体の提案書等書類及びヒアリングの内容を基に、選定委員会において、以下の評価項目ごとに評価を行い、選定基準（61 点）以上で最も評価の高い団体の選定を行いました。

評価項目	評価基準	配点
業務内容の理解度	仕様書の内容に即した実施方針となっているか	5
	隠岐航路の特色、現況及び課題についての的確に理解しているか	5
提案内容の評価	検討に係る基本的な考え方、調査の着目点は適切か	20
	客観性に基ついた具体的手法が検討されているか	20
	提案内容は隠岐島の発展に貢献し、隠岐航路の持続可能な運営に寄与する実現可能な提案であるか	20
業務の実施体制	業務遂行に係る専門的知識を有している者を配置しているか	10
	関係機関との協議、ヒアリング時期等を含め全体スケジュールは適切か	10
自由提案	見積額の適正度、説明のわかりやすさ、業務に対する意欲、独自提案など	10
総合評価		100

8 委員による評価の概要

7-（4）による各委員の点数を平均した結果、最も評価の高い団体は以下のとおりとなりました。

	団体名	総合評価点
最優秀者	株式会社 バイタルリード	80.1 点

9 審査の総評

この度のプロポーザルは、隠岐航路の持続可能な運航に向けた「論点整理」、「現状分析」、「課題抽出」、「具体的な解決施策の策定」、「収益向上策等の取組」などの各項目に対し、応募者それぞれが独自の視点で明確に整理した上で提案されており、レベルの高い提案が見られました。

プロポーザルの中で、最優秀者として選定された（株）バイタルリードの提案は、本業務に対する理解度の高さや、本業務に求められる隠岐航路の特色に対する提案内容の適格性の高さなど、総合的にバランスのとれた企画提案として評価されました。特に、具体的な解決施策の策定において、コロナ禍及び終息後のプラス要因とマイナス要因に留意した悲観と楽観のシナリオ設定に基づく隠岐航路のあるべき姿と関係者の役割分担の設定手法が、具体的かつ明瞭であったことなどが高い評価を得ました。

（株）山陰合同銀行コンソーシアムの提案は、山陰両県を地盤とした地元金融機関としてのネットワークとコンソーシアム構成企業による業務遂行体制が特に高い評価を得ました。また、弾力的に取り組んでいく姿勢も評価されましたが、現時点での隠岐航路をとりまく課題に対する手法の具体性については、他団体の評価が高い結果となりました。

（株）アテナの提案は、提案者のこれまでの隠岐航路に係わるコンサルティング業務の経験を生かした内容でまとめられており、隠岐航路をとりまく課題の理解度は高い評価を得ました。また、具体的な解決施策の策定における隠岐航路最適システムの提案は独自性が高く評価された一方で、その独自性ゆえに委員毎に評価が分かれる結果となりました。

総じて、（株）山陰合同銀行コンソーシアム及び（株）アテナの提案も持てる技術力を十分に発揮されたレベルの高いものであったことは言うまでもありませんが、選定委員による審査の結果、本業務の目的である隠岐航路の持続可能な運航に向けて、運航事業者と地元自治体など関係者の連携した取組を促進するという点においては、（株）バイタルリードの提案が最も優れた内容であったことから、最優秀者として選定しました。